

動物病院 開業指南書

承継開業のススメ

どうして動物病院の開業を 目指しているのですか？

こちらの指南書をお手にとっていただいた獣医師の方は、何かしらの理由で、動物病院の開業を考えられているかと思います。承継開業で大切なことは、

- ・ どうして開業をしたいのか
- ・ いつまでに開業をするのか
- ・ 開業して何を実現したいのか

を明確にしておくことです。

開業は、あくまでも夢を実現させるための通過点でしかありません。

開業してからが、本当の意味でのスタートになります。

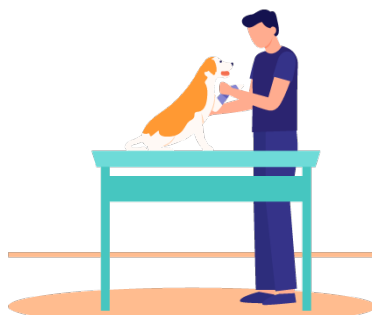
一人でも多くの方がペットの命を救い、飼い主と共に幸せな生活を過ごしていただける環境を作っていただけるよう、開業のお手伝いをさせていただければ幸いです。

代表取締役 安積 秀弥

目次

index

事業承継の基本的概念	P.04
承継開業のメリットとデメリット	P.06
準備しておくべきこと	P.08
承継の流れ	P.09
譲渡価格の目安	P.10
承継開業の事例	P.11
お問い合わせ	P.12



事業承継プランを具体的に に思い描けていますか？



事業承継とは、動物病院の所有権や経営権を別の事業者に譲るプロセスです。譲渡理由はさまざまで、獣医師の引退、経営資源の再編などが主な理由として挙げられます。

売り手にとっては、自身が築き上げてきた動物病院を次世代に引き継ぐための重要な手段であり、買い手にとっては実績のある動物病院を引き継ぐことで早期に経営を軌道に乗せることができる有効な方法です。

承継の方法には、下記3つがあります。

①親族内承継

②第三者承継（社内承継）

③第三者承継（社外承継）

事業承継の方法とは？

事業承継の方法には、下記2つがあります。

① 株式譲渡

② 事業譲渡

① 株式譲渡

株式譲渡とは、動物病院を運営する会社の株式を譲受する方法です。会社そのものは変わらず、経営権が移り、従業員や取引先、クライアントがそのまま引き継がれるため、事業継続性が高いとされています。ただし、成就する株式の価格設定や税務処理が複雑であり、株式数に応じた権利の移動が行われるため、譲受後の影響を十分に検討する必要があります。

② 事業譲渡

事業譲渡とは、動物病院の事業そのものを譲受する方法で、資産や負債、従業員、クライアントなどを含めた事業全体を別の事業者引き継ぎます。譲渡される事業の範囲を明確に定めることができるため、双方が合意した範囲内のみで権利義務が移転します。

承継開業のメリットと デメリットを正しく理解しておく



メリット

1. 成長の機会が広がる

事業承継により、既存の動物病院の基盤や実績を引き継ぐことができます。新規開業よりも迅速に収益を上げることができ、短期間での成長が期待されます。

2. リスク分散が図れる

既存動物病院が内包しているリスクや問題を事前に把握し、適切に対策を講じることができるため、事業の安定性が向上します。既存動物病院が気付いてきた信頼関係やブランド力も引き継ぐことができます。

承継開業のメリットと デメリットを正しく理解しておく



デメリット

1. 文化の衝突が生じる可能性がある

既存動物業院の経営方針や社風を引き継ぐことになるため、新たな経営者の考え方と合わない場合、組織内での摩擦や不満が生じることがあるため、事前に十分理解し、適切な対応が求められます。

2. 非効率性が生じる可能性がある

既存動物病院の経営システムや業務プロセスを引き継ぐことになるため、新たな経営者にとって非効率であったり、業務遅延、コスト増につながる倍もあります。適切な改革や改善を進めることで、事業の収益性や競争力を高めることができます。

承継開業を成功させるために

開業後のイメージ

- 開業後のどのような病院を経営したいのかを明確にする
(短期的、中長期的を分けて考えるとより具体化します)
※どのような・・・売上、診療内容、病院規模

条件を絞る

- エリア
- いつまでに開業をするか
- 開業資金の上限

資金

- 自己資金を用意する
(0円でも開業は可能ですが、多いとその分選択肢が広がったり、精神面で余裕がうまれます)

条件を絞る

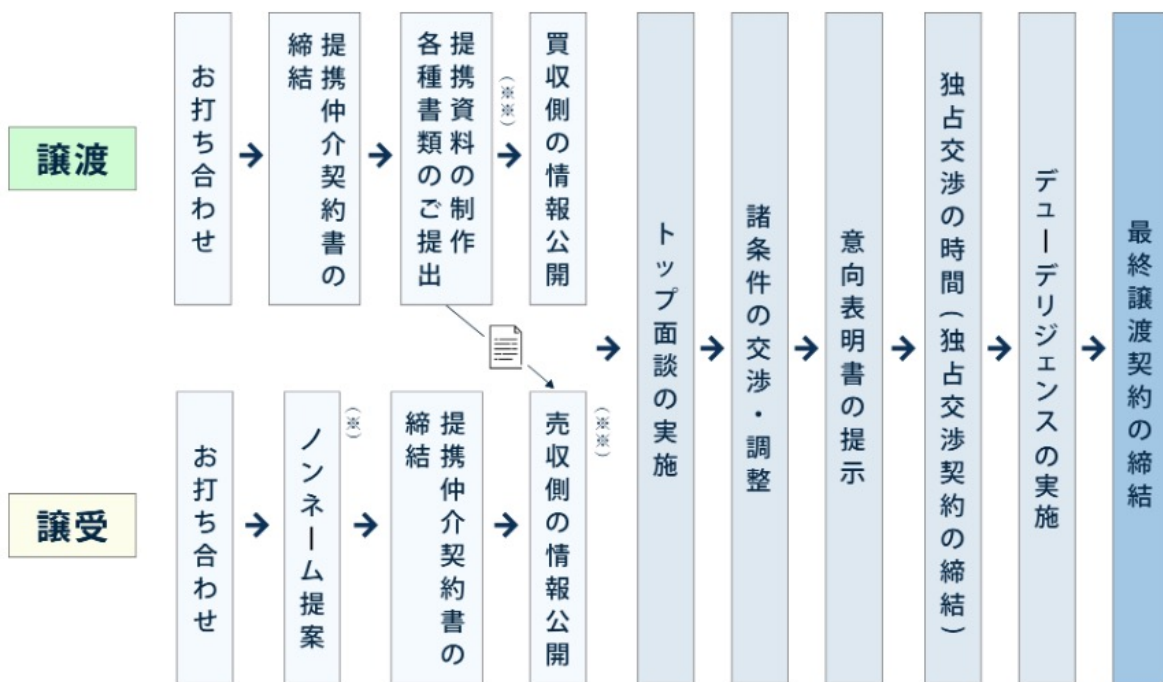
- 経営者としての自覚をもつ
- 周囲の理解を得る(家族や現職に開業の意向を話しておく)
- 経営について学ぶ

承継の流れ

flow

承継開業はどのように進んでいくのか

A-BRAINでは、中立の立場にたち、動物病院を譲る側、譲り受ける側双方の想いやお話を重ねながら事業承継を進めていきます。動物病院特有の問題や確認事項を明確にすることで、互いに良い形で引き継ぎ、受け継ぐことができます。



(※) 都道府県、売上規模（万円単位）、事業年数、譲渡希望額を記載し、特定されないレベルの簡易情報で提案します。

(※※) 企業概要書と呼ばれるものです。必要に応じて、企業情報、事業概要、不動産、設備含め財務情報をもとに作成します。
作成せずとも、お話が進む場合はこの限りではございません。

平均：約6ヶ月



譲渡価格の目安

estimated transfer price

弊社が仲介した案件の譲渡価格の一部をご紹介します

エリアや規模が同じような動物病院でも、譲渡価格が大きく異なる場合もございます。承継開業を始める際の目安としてお役立てください。

譲渡価格 5,500万円	
承継の理由	引退のため
エリア	東京都
売上高	4,000万円

譲渡価格 6,000万円	
承継の理由	引退のため
エリア	大阪府
売上高	9,500万円

譲渡価格 3,000万円	
承継の理由	分院の譲渡
エリア	神奈川県
売上高	3,500万円

譲渡価格 5,500万円	
承継の理由	引退のため
エリア	兵庫県
売上高	8,000万円

最新の案件情報は、ホームページで随時更新中！
気になる案件がございましたら、ホームページより
お問い合わせください。

<https://animalhospital-consulting.com/kaigyo/>



承継開業の事例

example

Case 1 高齢のため引退を希望された事業承継の事例

エリア：兵庫県
売上高：8,000万円
代表の年齢：60代



年齢：30代後半
自己資金：300万円

開業の動機

自分の思い描く動物病院を経営し、生まれ育った地域で獣医療に貢献したいという思いがありました。

開業までのキャリア

地域密着の動物病院（獣医師2名）へ入社。その後、地元に戻り、経験を積み、副院長まで務め、後輩の指導にもあたる。

条件の優先順位

- 1：立地
- 2：今後の拡張性（病院の規模）

承継をした決め手

前院長とのかかわりも深く、顔見知りであった。人柄にも惹かれ、前院長の後を引継ぎ、より発展していくイメージが持てた。



これから開業する人へ一言

もともと、知り合いの院長でしたが、アドバイザーに入って頂くことで承継までの流れ、開業に必要なことを整理でき、スムーズに開業まで至ることが出来ました。

承継開業の事例

example

Case 1

分院譲渡の事例

エリア：神奈川県
売上高：3,500万円
代表の年齢：60代後半



年齢：40代
自己資金：500万円

開業の動機

大学時代から自分の理想的な病院を作りたいという思いがあった。結婚を機に家族も後押ししてくれるのでタイミングとしては、今だと思い、決心した。

開業までのキャリア

新卒で獣医師が複数名在籍する地域の中核病院へ入社。中堅として診察を行う一方で、後輩の指導にもあたる。

条件の優先順位

- 1：地域に愛されている病院
- 2：売上、利益ともに安定している病院

承継をした決め手

設備や条件が厳しい部分もありましたが、前院長が譲渡価格や譲渡に向けて協力的だったため、承継することを決めました。



これから開業する人へ一言

自分自身の譲れない優先順位を整理することは重要だと思います。特に、医療設備や内装などは変えられる部分なので、変えられない部分の優先順位を整理した方が良いと思います。

A-BRAINについて

サービス名	A-BRAIN
サービス内容	動物病院の経営コンサル、M&A支援、開業支援
URL	https://animalhospital-consulting.com/
会社名	株式会社TYL
所在地	東京都港区芝2-13-4 住友不動産芝ビル 4号館 4階



03-5730-1331

受付時間 9:00~18:00 (土日祝はお休み)



開業後もさまざまなサービスでサポートします。

